

2016年(平成28年)6月7日(火曜日)

熊本被災者へ手厚い支援を

公明党市議団 市長に要望書

公明党市議団は六日、市内に避難している熊本地震の被災者へのきめ細かな支援を求める要望書を、河村たかし市長に提出した。写真。

要望書は、避難中の被災者の現状や要望を把握し、東日本大震災時の対応を参考に、で



き得る限りの温かい支援の実行を求めている。

金庭宜雄団長が「親戚の家に身を寄せる人もいるかもしれないので、そういった状況も把握してほしい。市から情報提供をしていく中で、名古屋がいい所だと知ってもらえるところ」と述べ、要望書を手渡した。東日本大震災時には、市内に避難した被災者に、市営地下鉄などのICカード乗車券「manac

a(マナカ)や、名古屋港水族館の入場券などが提供された。河村市長は「これはええんじゃないですか」と述べ、熊本地震の被災者にも同様の支援をしたい考えを示した。市によると、名古屋市内では五月末現在、市営住宅や県営住宅に被災者計二十世帯、四十五人が暮らしているという。(蜘蛛美鶴)